

関係各位

2021年8月

東京学芸大学国語教育学会  
2021年度 第3回例会のご案内

世情の混乱は収まる気配を見せませんが、会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。夏休み明けの学校再開について、検討をしている方が多いと思います。本学会では、予定通り、オンラインにて第3回の例会のご案内をすることになりました。多くの方の参加を、お待ちしております。ご協力どうぞよろしくお願いいたします。

事務局長 上田真也〔東京学芸大学附属大泉小学校〕

研究主題 思考力・想像力を育てる言葉の学び

日時 2021年9月11日(土) 14:00~16:15

会場 ZOOM会議室(オンライン)

ミーティングID 829 6932 5629

セキュリティパスコード 3QM56R

招待リンク

<https://us06web.zoom.us/j/82969325629?pwd=aDR0Uzh5OG1SR3dpUm9YdDBuMHMvQT09>

時程	14:00~	開会
	14:10~15:00	実践提案1
	15:10~16:00	実践提案2
	16:00~16:15	その他連絡 閉会

○実践提案 1

分けるということは、受け取る人への心配りである

東京学芸大学附属大泉小学校 今村 行

(概要) 3年生の児童と、「段落」について学んでいく読みの単元の提案です。過去に6年生を担当したとき、読むにも書くにも(話すにも聞くにも)段落を使いこなすことができず苦しんでいる子がいました。そんな子を増やさないために、段落というものを捉え始める3年生で何をすべきか、考えて実践してみました。ご指導よろしくお願ひします。

○実践提案 2

人間にとって感情とは一別役実『寂しいお魚』一

東京学芸大学附属国際中等教育学校 浅井悦代

(概要) IB MYPでは、概念学習を通して、教科の学びから人が生きる世界全体を学ぶことを目指しています。本単元ではMYPの授業において別役実『寂しいお魚』を取り上げ、作品が持つ「寂しい」感情の発露と概念「コミュニケーション」との関係をとらえて、自分自身に置き換えて考察することをねらいとしています。作品から読み取ったことを端的に伝えるため「ポップ作り」という形式を用いたり、自由詩『峠』真壁仁を学習したりして、異なるジャンルによる「寂しい」感情の探究を深めました。人との関わりの中で、「寂しい」という感情はどのように生まれ、人に何を及ぼし、人生をどのように導くのか、普遍的な問いに向けたMYP授業を紹介させていただきます。

参加費 無料 ※学会員の方は年会費(一般3000円、学生2000円)をいただきます。  
※年会費の納入方法につきましては、別途お知らせいたします。

- ・本学会は、国語科教育に関心のお持ちの方ならばどなたでも入会できます。
- ・本学会に関するお問い合わせは、学会事務局(東京学芸大学附属大泉小学校・上田真也 [ueshin@u-gakugei.ac.jp](mailto:ueshin@u-gakugei.ac.jp))までお願いいたします。
- ・第4回例会は、10月9日(土)にオンライン(zoom会議室)にて行います。